

## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月3日

上場会社名 株式会社TOKAIホールディングス  
 コード番号 3167 URL <https://www.tokaiholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小栗 勝男  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務執行役員 総務本部長 (氏名) 山田 潤一  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 054-275-0007

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	53,971	4.2	2,484	26.0	2,617	22.8	1,338	25.4
2023年3月期第1四半期	51,803	7.0	3,355	4.0	3,389	1.1	1,795	4.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,916百万円 (24.7%) 2023年3月期第1四半期 2,544百万円 (42.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	10.25	
2023年3月期第1四半期	13.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	188,637	82,117	42.4
2023年3月期	193,339	82,304	41.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 79,960百万円 2023年3月期 80,184百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		16.00		16.00	32.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		16.00		16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	4.3	15,000	0.5	15,000	12.9	8,500	31.5	65.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	139,679,977 株	2023年3月期	139,679,977 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	9,105,857 株	2023年3月期	9,105,687 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	130,574,271 株	2023年3月期1Q	130,860,135 株

(注)期末自己株式数については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2024年3月期1Q 782,100株、2023年3月期 782,100株)を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2024年3月期1Q 782,100株、2023年3月期1Q 496,900株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、長引く円安の進行やウクライナ情勢によりエネルギー価格は高止まりの状況が続いております。一方で、企業による大幅な賃上げや成長投資の拡大などを背景として、個人消費の持ち直しや景気の回復が期待されております。

このような状況のなか、当社グループは新たに「中期経営計画2025」を策定し2023年5月に公表しました。この中期経営計画では、当社グループの持続的成長に向け①事業収益力の成長、②持続的成長基盤の強化、③人財・組織の活力最大化の3つをキーメッセージとして掲げております。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、グループの継続取引顧客件数は13千件増加（前年同期は19千件増加）し、3,312千件となりました。TLC会員数は17千件増加（前年同期は19千件増加）し、1,175千件となりました。グループ顧客件数の増加等により、売上高は53,971百万円（前年同期比4.2%増）と過去最高を更新しましたが、顧客獲得費用の増加や賃上げによる人件費の増加等により、営業利益は2,484百万円（同26.0%減）、経常利益は2,617百万円（同22.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,338百万円（同25.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間よりセグメントの記載順序を変更しております。

#### (エネルギー)

LPGガス事業につきましては、引き続き顧客獲得を推進した結果、需要案件数は前連結会計年度末から9千件増加し755千件となりました。一方、高気温等により家庭用ガス販売量が減少し、売上高は19,336百万円（前年同期並み）となりました。

都市ガス事業につきましては、需要案件数は前連結会計年度末から1千件増加し75千件となりました。また、原料費調整制度の影響により、売上高は4,629百万円（同17.5%増）となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は23,966百万円（同3.0%増）となりましたが、顧客獲得費用の増加等により、営業利益は62百万円（同94.4%減）となりました。

#### (情報通信)

コンシューマー向け事業につきましては、ISP事業は大手携帯キャリアとの提携による獲得強化、モバイル事業はLIBMOのサービスメニューの拡充や固定回線とのセットプラン等により顧客獲得を推進しました。これらの施策の結果、ブロードバンド顧客は前連結会計年度末並みの665千件、LIBMOは前連結会計年度末から1千件増加し72千件となり、売上高は6,034百万円（同1.2%増）となりました。

法人向け事業につきましては、キャリアサービス及びクラウドサービスが順調に進捗、受託開発案件の増加等により、売上高は7,433百万円（同7.5%増）となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は13,468百万円（同4.6%増）、営業利益は1,107百万円（同25.6%増）となりました。

#### (CATV)

CATV事業につきましては、地域密着の事業者として地元の情報発信や番組制作に注力するとともに、大手動画配信事業者と提携する等コンテンツの充実に向けてまいりました。また、営業活動を積極的に実施したことで、放送サービスの顧客件数は前連結会計年度末から1千件増加し915千件、通信サービスの顧客件数は前連結会計年度末から5千件増加し379千件となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は8,820百万円（同7.1%増）、営業利益は1,451百万円（同4.0%増）となりました。

#### (建築設備不動産)

建築設備不動産事業につきましては、事業用新築案件の受注が増加したこと等により、当セグメントの売上高は4,852百万円（同4.5%増）、営業損失は40百万円（前年同期は98百万円の営業損失）となりました。

(アクア)

アクア事業につきましては、新たに浄水サーバーの取り扱いを開始し、更なる顧客基盤の拡充に取り組みました。また、大型商業施設等での催事営業やWEB獲得、テレマーケティング等の非対面営業にも取り組み、顧客件数は前連結会計年度末から1千件増加し165千件となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は1,871百万円(同0.6%増)、営業利益は20百万円(前年同期は9百万円の営業損失)となりました。

(その他)

その他の事業のうち、介護事業につきましては利用者数が減少したことにより、売上高は345百万円(同3.8%減)となりました。船舶修繕事業につきましては、修繕隻数が増加したことにより、売上高は189百万円(同51.0%増)となりました。婚礼催事事業につきましては婚礼、宴会事業ともに回復がみられ、売上高は260百万円(同20.2%増)となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は992百万円(同8.5%増)となりましたが、船舶修繕事業にかかる原価の増加等により、営業損失は37百万円(前年同期は38百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は188,637百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,702百万円の減少となりました。これは主として、投資その他の資産「その他」が1,028百万円、仕掛品が666百万円、それぞれ増加した一方で、季節的要因等により受取手形、売掛金及び契約資産が6,585百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は106,520百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,514百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金が1,965百万円増加した一方で、季節的要因等により支払手形及び買掛金が3,818百万円、長期借入金2,328百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産合計は82,117百万円となり、前連結会計年度末と比較して187百万円の減少となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,338百万円を計上したことに加え、その他有価証券評価差額金が499百万円、為替換算調整勘定が118百万円、それぞれ増加した一方で、剰余金の配当2,101百万円を実施したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末から487百万円増加し4,516百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,414百万円の資金の増加(前年同期比+2,364百万円)となりました。これは法人税等の支払、仕入債務の減少等により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少及び非資金項目である減価償却費等の要因により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,252百万円の資金の減少(同+10百万円)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,678百万円の資金の減少(同△1,610百万円)となりました。これは借入金による資金調達等の一方で、借入金及びリース債務の返済、配当金の支払等を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通り進捗しており、2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,359	4,842
受取手形、売掛金及び契約資産	29,899	23,313
商品及び製品	5,448	5,156
仕掛品	1,130	1,796
原材料及び貯蔵品	1,589	1,589
その他	9,850	10,279
貸倒引当金	△454	△457
流動資産合計	51,824	46,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,188	35,912
機械装置及び運搬具(純額)	26,038	25,844
土地	24,841	24,591
その他(純額)	23,316	23,780
有形固定資産合計	110,384	110,129
無形固定資産		
のれん	5,904	5,882
その他	4,588	4,458
無形固定資産合計	10,492	10,341
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	4,092	4,101
その他	16,785	17,813
貸倒引当金	△243	△273
投資その他の資産合計	20,634	21,642
固定資産合計	141,511	142,112
繰延資産	3	3
資産合計	193,339	188,637

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,801	15,982
短期借入金	15,753	17,719
未払法人税等	2,247	1,449
その他の引当金	1,570	88
その他	21,673	23,460
流動負債合計	61,046	58,700
固定負債		
長期借入金	30,855	28,527
その他の引当金	342	345
退職給付に係る負債	1,377	1,409
その他	17,412	17,538
固定負債合計	49,988	47,819
負債合計	111,034	106,520
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,000	14,000
資本剰余金	25,566	25,566
利益剰余金	38,526	37,763
自己株式	△2,601	△2,601
株主資本合計	75,492	74,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,458	1,958
為替換算調整勘定	741	860
退職給付に係る調整累計額	2,492	2,412
その他の包括利益累計額合計	4,692	5,230
新株予約権	36	43
非支配株主持分	2,083	2,113
純資産合計	82,304	82,117
負債純資産合計	193,339	188,637



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	51,803	53,971
売上原価	31,267	33,620
売上総利益	20,536	20,350
販売費及び一般管理費	17,181	17,866
営業利益	3,355	2,484
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	100	111
受取手数料	8	7
その他	112	100
営業外収益合計	227	222
営業外費用		
支払利息	65	73
持分法による投資損失	99	—
その他	28	15
営業外費用合計	193	88
経常利益	3,389	2,617
特別利益		
固定資産売却益	8	3
投資有価証券売却益	21	—
伝送路設備補助金	31	14
補助金収入	—	2
特別利益合計	61	20
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	187	254
投資有価証券評価損	302	—
特別損失合計	490	254
税金等調整前四半期純利益	2,960	2,383
法人税、住民税及び事業税	1,269	1,388
法人税等調整額	△151	△382
法人税等合計	1,117	1,006
四半期純利益	1,842	1,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,795	1,338

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,842	1,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	411	499
為替換算調整勘定	0	2
退職給付に係る調整額	△80	△79
持分法適用会社に対する持分相当額	370	117
その他の包括利益合計	702	539
四半期包括利益	2,544	1,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,495	1,877
非支配株主に係る四半期包括利益	49	39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,960	2,383
減価償却費	3,731	3,893
のれん償却額	244	244
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,424	△1,490
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△102	△91
受取利息及び受取配当金	△106	△113
投資有価証券売却損益(△は益)	△21	—
支払利息	65	73
固定資産売却損益(△は益)	△8	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	302	—
固定資産除却損	187	254
売上債権の増減額(△は増加)	6,312	6,952
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,427	△115
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,592	△3,821
未払費用の増減額(△は減少)	3,028	3,168
その他	△953	△414
小計	9,197	10,919
法人税等の支払額	△3,147	△2,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,049	8,414
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	116	128
有価証券の取得による支出	△729	△2
有価証券の売却による収入	32	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,761	△4,616
有形及び無形固定資産の売却による収入	162	290
貸付金の回収による収入	5	1
その他	△88	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,262	△4,252
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息の支払額	△65	△75
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,850	2,309
リース債務の返済による支出	△1,157	△1,210
長期借入金の返済による支出	△2,546	△2,671
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,140	△2,020
その他	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,067	△3,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△277	487
現金及び現金同等物の期首残高	4,447	4,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,170	4,516

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に変更しております。

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エネルギー	情報通信	CATV	建築設備 不動産	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,274	12,873	8,239	4,641	1,860	50,888	915	51,803	—	51,803
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	50	971	122	210	5	1,360	94	1,454	△1,454	—
計	23,324	13,844	8,362	4,851	1,865	52,249	1,009	53,258	△1,454	51,803
セグメント利益 又は損失(△)	1,125	881	1,396	△98	△9	3,295	38	3,333	21	3,355

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、介護事業、保険事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エネルギー	情報通信	CATV	建築設備 不動産	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,966	13,468	8,820	4,852	1,871	52,979	992	53,971	—	53,971
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	42	1,561	106	214	6	1,931	85	2,016	△2,016	—
計	24,008	15,029	8,926	5,066	1,878	54,910	1,077	55,987	△2,016	53,971
セグメント利益 又は損失(△)	62	1,107	1,451	△40	20	2,601	△37	2,564	△80	2,484

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、介護事業、保険事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。